



新宿区立四谷小学校

学校運営協議会だより

第1巻 第2号

平成22年 6月 7日

第2回運営協議会 次第

- (1) 学校挨拶
- (2) 現状報告
 - ・校内研究概略
(確かな学力を育む指導法の研究～ICTを活用して～)
 - ・放課後学習支援
 - ・生活指導・家庭との連携
 - ・読書活動
 - ・第三者評価
 - ・これからの予定
(学校公開6/17～19 日光移動教室 夏季施設(林間) 天童交換行事)
- (3) 支援活動について
- (4) 協議会便り
- (5) 安全でんじょうばと
- (6) 質疑
 - ・その他

*説明は明朝体、提案・意見はゴシック、決定事項は斜体で示します。

代表あいさつ

学校運営協議会発足に際して

田 谷 真

四谷小学校が開校して今年で4年目を迎え地域の中に一步一步歴史を刻んでいます。この度、新宿区の「地域協働学校」準備校として発足した学校運営協議会に、地域の代表の一員としてご推薦いただいたことに感謝しております。

私は、私と2人の娘が四谷第四小学校でお世話になり、中学2年の三女が四谷小学校に2年間お世話になりました。保護者に近い立場でもあり、地域での活動もしているため、この会の目的でもある“地域と学校と保護者の協働”の一端を担っていければと思っています。

親子が安心して子育てのできる学校環境作りや、地域の次世代を担う子どもたちを輩出していきたいと希望し、全委員の力を合わせ、また地域・保護者の皆様の協力を得ながら、微力ではありますが、誠心誠意頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。



会議録から

(学校長)

・学校は、ICTを活用した指導法の工夫について研究を進めているが、専門的な知識を必要とするものではない。また、新宿区は、約25億をかけて学校のICT環境の整備を多面的に進めている。黒板に教材を簡単に映し出すことができるプロジェクターや実物投影機などの機器の活用も既に始まっており、一斉送信メールもできるようになった。

・退職された校長先生にチーフをお願いし、放課後四谷スタディ教室が始まった。学習への取り組みに課題がある子への学習習慣定着の一助としたい。

・第三者評価の制度が始まり、学校経営に対して客観的な立場でご意見をいただく機会となる。

・夏季施設の参加率低下や事前指導に関する質問。

・欠席の連絡方法としてのメール等の活用を今後検討してはどうか。

(校長)

・ICTの整備に伴い、通知表作成や成績処理も電子化されたが、連絡のすべてをメールにできる現状ではない。

・資料(地域の支援を受けている授業や活動(SC今井様作成)) (四谷地区センター運営協議会事業計画(小西様作成)) (PTA活動組織運営表及び事業報告(青木PTA会長様作成))の説明

・八校会の発表の場の設定を含めた四谷の地域センターの活用も今後決定していく。

・PTAの活動をもとに、類似している3事業を統合した子供たちの活動等の今後の関わりを整理していく。子供のためにどのような支援をしていくのかを一番に考えて、支援部会ができていくといいのではないかと。

・学校運営支援部会にあるものを次回の検討により効果的にしていくために、検討をしていく。歴史博物館等の活用も含めてたくさんあるので、まとめるような役割があるとよい。地域でやっても整理がつかなくなることがある。お互いに取り組んでいることを互いに知らないことが多いのではないかと。

・課題のピックアップを次回行っていく。実際の実施がどのように実施ができるのかを宿題とする必要がある。

※次回の協議会は、6月24日(木)午後7時から行います。